

あいめーる

AUTUMN

愛隣館通信

令和5年11月20日発行 〒861-0551
 発行 熊本県山鹿市津留2022
 社会福祉法人 愛隣園 TEL 0968-43-2771
 障害者支援施設 愛隣館 FAX 0968-43-2793
 発行責任者 三浦貴子 http://aileans.com
 編集 広報チーム E-mail
 キャリービジョン ailinkan@magma.jp



童謡「夕日」「赤とんぼ」を合唱：音楽クラブの皆さん

最後に、今回のふれあい祭りで、地域の方々や各施設の利用者様、職員との交流を深めることができ、皆様の笑顔と歓声に包まれた素晴らしい祭りになり本当に良かったと思っています。

また、久々の大きな行事ということで、不安もありましたが、無事に事故や怪我也無く終えることが出来ました事に感謝しております。

会場では、各施設の利用者様や地域の方々も多数おいでになり、どの飲食ブース等にも、行列が出来ておりました。

また、久々の大きな行事ということで、不安もありましたが、無事に事故や怪我也無く終えることが出来ました事に感謝しております。

第二十七回ふれあい祭りが九月二十三日(土)四年ぶりに開催されました。

三浦一水理事長の主催者挨拶に続き、来賓挨拶が行われ、童謡合唱から始まり、愛隣館入居者による音楽クラブの合唱や各施設の出し物等で会場はとても盛り上がりました。

また今回は、インドネシア人スタッフによる伝統舞踊や、山鹿市消防団によるラッパ演奏等、今までに無いアトラクションもあり見所満載でした。その他にも、お楽しみ抽選会や灯笼踊り保存会の皆様による山鹿灯笼踊り、打ち上げ花火もあり終始賑わいました。

ケア課

池松 知京



愛隣館新人職員の出し物：サザエさん



館長 三浦 貴子

仕事と家事と出張の合間合間に、深夜こっそりと起き出しては、テレビでワールドカップラグビーの中継にくぎ付けとなる秋を過ごしました。

ボールがある時も無い時も、ひとときも休まずに全力で献身的なプレーを続ける選手に、画面越しの拍手を送るばかりです。各国のチームそれぞれにカラーがあり、選手も多様性に満ちていて、見ているだけで力が湧いてきます。

南アフリカとニュージーランドの決勝戦には、テニスのフェデラーとジョコビッチが観客席にいて「ほう」と感心したり。二〇一五年以後少しずつルールが解るようになりました。

ラグビーの映画「フライトゥンミラクル」も、「インビクタス・負けざる者たち」にはかきまかせが楽しめました。

夏の終わりのから、日本代表のバスケットボール、バレーボール、杭州アジア大会など、スポーツイベントがめぐる押しで、日々感動しています。才能に加え、子どもの時から絶え間なく努力を重ね、練習してきた方々だからこそそのパフォーマンス、全てが真実で人間同士だから心踊るようなドラマが生まれるのでしょ。ルールの下で闘える、世界の日常

であることを祈るばかりです。

ところで、一時間強のマラソンを見た後には、いつも少し後悔が付いてきます。この方達は走っていたのに、私はじっとしていた後悔です。

心肺蘇生法 AED 操作法講習会

看護課サブチーフ

中島 愛

目の前で倒れた人は自分の知らない人…でも誰かにとっては大切な人…

いざ！という時に何もできないでは困るので、最低限必要な知識・技術を身につけることを目的として愛隣館では毎年心肺蘇生法・AED（自動体外式除細動器）の講習会を実施しています。

今回は、七月十一日（火）・二十五日（火）の両日に集会所にて、講師に（株）サニクリンの高島好喜係長と桑原瞳様にお越しいただきました。はじめに、一時救命措置となる「心肺蘇生法」と「AEDの操作」についての動画を観て学びました。救急車が到着するまでの全国平均時間は約八分。心臓や呼吸が止まって助かる可能性は約十分間で急激に少なくなっていくきます。だからこそ救急車が到着するまで一分一秒も無駄にできません。そこで受講者の中から数名に蘇生法教育モデル（人形）を用いて胸骨圧迫法とAEDの実技体験をしていただきました。胸骨圧迫を実際に体験すると…これがかなりのキ

ツイ!! 十分な強さ、かつテンポの速さが求められます。それを救急車到着まで絶え間なくやることになる。と一人ではなく二人三人と交代で続けていくことが理想です。だからこそ一時救命措置が出来る人を一人でも多く増やすことが必要だと改めて感じました。

今回の講習を受講し、救命措置の知識・技術を身につけ職場や地域でいざという時に適切な行動で一つでも多くの命を救う手助けが出来る事を期待しています。



新しい仲間

入居者

田中 勝則



こんにちは。七月十九日に入居しました田中勝則と申します。入居する前は山鹿市に住んでいて、植木町で仕事をしていました。

高校野球やサッカー等のスポーツ観戦が好きです。館内では車椅子で過ごしていますが、歩けるようになるのが目標です。

まだ施設での生活に慣れておらず、何をしてもいいかわからないことが多いです。自分から話すことは苦手ですが、皆さんと生活しながら楽しく過ごしていることと思いますので、よろしく願います。

(代筆：石貫 栄嗣)

第四十三回山鹿市合唱祭

愛隣倶楽部サブチーフ

鈴木 大輔

九月十七日(日)、山鹿市交流センター・文化ホールに於いて山鹿市合唱祭が開催され、利用者十三名、職員八名で参加しました。

愛隣館音楽クラブ

は「およげーたいやきくん」のうた「わたしのほしいもの」の三曲を合唱。ステージ上では利用者の方たちも少し緊張された様子でしたが、コールエイトの方たちにお手伝いいただき、今津



先生のピアノ伴奏のもと、皆が一緒に大きな声で歌うことができ、その姿はとても誇りしかったです。歌い終わると会場から拍手大喝采。利用者の方々も大変嬉しそうでした。久し振りの緊張感で利用者も職員も、また絆がひとつ深くなり地域との交流ができた有意義な一日となりました。

一般浴天井走行リフト設置

清水基金社会福祉法人助成事業の助成金(工事費の3分の2)を活用して、九月九日(土)・十日(日)に一般浴天井走行リフト設置(脱衣所から浴室)工事を実施。翌、十一日

(月)には、シーホネンス(株)島田様を講師に迎え、午前・午後の二回に分けて一般浴天井走行リフトの操作説明及びノーリフト研修会を開催しました。

操作説明では、ワイヤレスリモコン操作、スリングシートの使

用方法、レールでの移動等を実践形式で学びました。リフト導入後は、浴室・脱衣所で職員の屈む姿勢が減り腰痛防止にもつながります。



入居者それぞれに、入浴計画を含めたサービス提供の見直しを行い、皆様に満足のいくサービス提供を目指します。

「湯船の中に安心してゆっくり浸かれる」と利用者の感想もきかれました。

第十六回山鹿市ふれあいピック大会

ケア課 石貫 栄嗣

十月七日(土)、山鹿市カルチャースポーツセンターに於いて、山鹿市ふれあいピック第十六回大会が開催されました。令和元年度の第十五回大会以降、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点により開催が見送られていましたが、今年は愛隣館より四十一名の利用者が参加されました。

開会式があり、準備体操では、くまモン、ころもんと一緒にくまモン体操を行いました。メジシンボール、ストライカー、ペタンク、輪投げなどの競技に参加、利用者のご家族も一緒に楽しめました。「釣った魚は大きいぞ」ではお菓子を釣り、参加者の満面の笑みが印象的でした。

「みんなでダンス」では、やまがレクレーション協会の皆さんがご指導。Y.O.A.S.O.B.I.のツバメの曲に合わせてダンスを踊り、大盛況のうちに大会は終了しました。

エントランスホールでは、各施設の紹介が掲示され、物販ブースでは、愛隣館のTシャツ販売もありました。

久しぶりの大会開催でしたが、事故や体調不良にならない方も無く、皆さん楽しい時間を過ごされました。

飾り馬訪問

ケア課

松本 誠

九月十日(日) 秋晴れの中、愛隣の家広場に藤崎八幡宮秋季例大祭の奉納団体、若藤会の皆様、飾り馬の披露に来訪されました。

理事長の挨拶ではじまり、若藤会の紹介、若藤会会長の挨拶で飾り



馬、口取り、楽団、勢子の紹介があり愛隣の家広場に祭り本番同様勇壮な馬追いの披露となりました。爽快なリズムと飾り馬の動きに会場が一体に。威勢のいい入居者の声援もあり祭り本場の雰囲気も全参加者が楽しむことが出来ました。若藤会の皆さんご多忙の中、遠路熊本市内から、ありがとうございました。来年も皆様のおいでを、利用者職員一同、心から楽しみにしています。

月見の宴

ケア課サブチーフ

渡辺 仁美

去る九月二十九日(金)、中秋の名月の日に「月見の宴」が開催されました。

新型コロナウイルスの影響でここ数年作品の発表と表彰のみでしたが、今年のご来賓の方をお招きし、軽食を楽しみながらの会を開催する事が出来、大変うれしく思いました。

毎年たくさんの作品が集まるのですが、今年も合計九十六首も集まりました。アトラクションで



は、本年度より職員となった岡部壮汰さんが所属している山鹿市民歌舞伎の会「八千代座子供歌舞伎」の皆様による演舞が行われました。入居者もステージに立ち大いに楽しまれ大盛況でした。一堂に会する月見の宴は久しぶりの為緊張しましたが、入居者の笑顔が沢山見れる素敵な一夜となりました。

日常風景の1コマ

利用者の皆さんの日常の様子を掲載しています。

井上貴文さん

リハビリも頑張っています。やっぱりEスポーツが大好きです。



阿南志穂さん

お父さんとお母さんの面会は、とっても嬉しいです。



『あいめーる』の企画・編集は利用者で構成された広報チーム、キャリアポジションが担っています。

令和五年度俳句・短歌入選作品

短歌「月の部」

一席 まん丸の ポテトチップス 月みたい

美味しく食べる ジュースと一緒に

野中翠

二席 夕月が 父母の言葉に 聞こえけり

頑張ってるね よかよかそつで

淵上 年孝

三席 何時までか 母の作りし 月見だご

受け継ぐ味は まだまだ敵わず

渡辺 仁美

短歌「雑詠の部」

一席 にわさきの なんてんのみに

めじろきて はるのおとずれ 入学式

井上 博治

二席 我のみに 廻りつづける 扇風機

たった一つの 従順なもの

岩下 力

三席 故郷の 母からかかる ケイタイは

声はいつもの 「いつ会えるのか」と

秋秀(猪股敦)



俳句「月の部」

一席 八千代座の 歴史を照らす 星月夜

福島 好美

二席 満月見 手作りおはぎ 母の顔

吉里 昭子

三席 つきあかり ほほえみかえす 母の顔

吉本 やす代

俳句「雑詠の部」

一席 目を閉じて 花火を見たよ 音だけで

小崎 あゆみ

二席 緑栗(あおくり)を 頭上に眺め 山に座す

田中 裕一

三席 ねがってる コロナが来ない 世の中を

山品 聡美

三浦牧子名誉理事長賞

月の夜 願いを込めて セ夕に

山下 四季子

夏探し 白球追う汗 響く声

岩下 力

過疎の村 棚田に咲くや 曼珠沙華

福島 好美

今になって ありがとうを言える 自分になった

田中 ティティマ

パタパタと 足音通る 部屋の外

声掛けひとつ 立ち止まる職員(ひと)

鶴崎 さおり

支えられ 新たな一歩 津留の地へ

月日は流れ しあわせ紡ぐ

坂田 照美

立てたから 今日もりハビリ 頑張ってる

歩ける明日を 現実にする

尾方 祐子

久しぶり 山鹿とうろう おこなわれ

まちのにぎわい もどればいいなあ

小川 ハツ子

お茶飲んで 朝のひととき 歳重ね

振り向きながら また湯のみ持つ

池田 良子

故郷の 母からかかる ケイタイは

声はいつもの 「いつ会えるのか」と

秋秀(猪股敦)

理事長賞

つきあかり ほほえみかえす 母の顔

吉本 やす代

目を閉じて 花火を見たよ 音だけで

小崎 あゆみ

夕月が 父母の言葉に 聞こえけり

頑張ってるね よかよかそつで

淵上 年孝

真っ黒な 頭と手足 日の光

物ともしない 子らの強さよ

渡辺 仁美

我が心 見ゆるが如く コオロギの

囁くような 歌ぞ胸染む

岩下 力

館長賞

夕月が 父母の言葉に 聞こえけり
頑張ってるね よかよかそつで

刈上 年孝

副施設長賞

満月よ あなたはどんな 顔してる

小川 ハツ子

愛隣荘賞

お月見の 団子ほおばり 皆笑顔

秋秀(猪股敦)

ラムネびん 母と鳴らした 遠い夏

岩下 力

夕月が 父母の言葉に 聞こえけり

頑張ってるね よかよかそつで

刈上 年孝

我のみに 廻りつづける 扇風機

たった一つの 従順なもの

岩下 力

城北高等学校 竹原理事長賞

つきあかり ほほえみかえす 母の顔

吉本 やす代

雲流る 秋の夜長の 月下美人

私の口も 思わず綻(ほころ)ぶ

渡辺 仁美



アールブリュット パートナーズ熊本 西島会長賞

満月見 手作りおはぎ 母の顔

吉里 昭子

すすき草 月見て誘い よいしれる

早野 恵美

君の顔 写真に残る 目の前の

無くなる学舎 淡き月光

秋秀(猪股敦)

支えられ 新たな一歩 津留の地へ

月日は流れ しあわせ紡ぐ

坂田 照美

みてますか あなたも一人

月をあおぎて 私も一人

吉本 やす代

熊本日日新聞社 編集局 デジタル編集部 岩下部長賞

今日もまた 荷物を渡す 恋心

仁田原 真有

お月見の 餅付く兔で 思い出す

冷凍庫眠る 正月の餅

渡辺 仁美

第三者委員 栗川賞

思いついたら まず実行 結果はどうであれ

田中 ティティマ

君の顔 写真に残る 目の前の

無くなる学舎 淡き月光

秋秀(猪股敦)

第三者委員 山西賞

我のみに 廻りつづける 扇風機
たった一つの 従順なもの

岩下 力

緑栗(あおくり)を 頭上に眺め 山に座す

田中 裕一

オフィス幸知 平野賞

窓枠が 額縁のように 月夜を切り取る

西田 奈津子

ラムネびん 母と鳴らした 遠い夏

岩下 力

支えられ 新たな一歩 津留の地へ

月日は流れ しあわせ紡ぐ

坂田 照美

三菱総合研究所 高森賞

夕月が 父母の言葉に 聞こえけり

頑張ってるね よかよかそつで

刈上 年孝

山鹿燈心会 会長賞

新月に ピンクの法被 映え渡る

坂田 照美

緑栗(あおくり)を 頭上に眺め 山に座す

田中 裕一

もうよかる 世界のコロナ 打ち上げだ

吉本 やす代

